

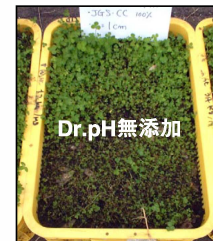
Dr.pHは、あらゆるアルカリ土壌に効果を発揮。

- アルカリ汚染された現場残土を中和矯正し、植栽用客土として再利用。
- 地盤改良された植栽基盤のアルカリ性の中和。
- 強アルカリ残土をpH8.5以下（排水基準以下）に中和矯正し、普通残土として処分。
- 浚渫固化土壌のアルカリ性の中和矯正、緑化利用。
- アルカリ性廃棄物（クリンカー、石炭灰、消却灰、炭など）の中和矯正・再資源化。
- 海浜地区のアルカリ性土壌（ナトリウム由来）の中和矯正。

Dr.pH、その他の使い方。

■ アルカリ法面の厚層基盤材に配合

有機物の緩衝作用でDr.pHを添加しても基盤層の急激なpH変動がありません。Dr.pHは法面のアルカリの影響を緩和します。吹付け基盤材に1～2kg/m²を目安に混合し、そのまま吹き付けてください。種子を配合して吹き付け可能です。



■ アルカリ性産業廃棄物の再利用のための中和

焼却灰、クリンカーなど各種のアルカリ性廃材を緑化園芸資材として再利用するためのDr.pHを開発供給いたします。

商品荷姿・内容量 ●15kg ビニール入り ●1000kg フレコン入り（受注生産品）

関連商品



< ドクターペーハー土木用 >

埋立地・掘削発生土・杭打ち発生土や、すぐに緑化しない宅地造成地などの中和に効果的です。

- ・ 1000kgフレコン入り
- ・ 25kgクラフト袋（受注生産品）

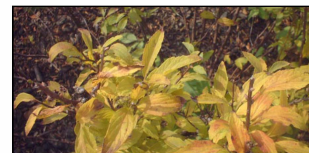


< ドクターペーハー溶剤 >

すでにアルカリ土壌に植栽された緑地の表土を中和改良するのに効果があります。

Dr.pH液剤20倍希釈液を1m²あたり2リットルを散布します。効果はすぐに現れますが年間管理のなかで継続利用することをお勧めします。

- ・ 20Lキュービテナー入り



▲アルカリ土壌で養分吸収ができず、葉が黄化した状態。

※ 取り扱い上の注意

Dr.pHは水に溶けるとpH2～3を示します。目に入ったり皮膚に付くなどして刺激を感じたら水と石鹸で良く洗浄してください。違和感が残る場合は医師の指示に従ってください。



製造・発売

株式会社 インターファーム

〒358-0004 埼玉県入間市鍵山2-12-41第2繁栄ビル2階

tel 04-2941-2435 fax04-2941-2436

<https://drph.co.jp>



Dr-pH

アルカリ土壌再生剤「ドクターペーハー」



セメント固化処理や石灰処理されたアルカリ土壌を中和し、緑化土壌に再生。

「安全」「確実」にpHを下降させます。

電気伝導度をほとんど上昇させない、緑化に最適なアルカリ土壌再生剤です。

残土は、処分から再利用へ！

埋立地、再開発現場、工場跡地…。

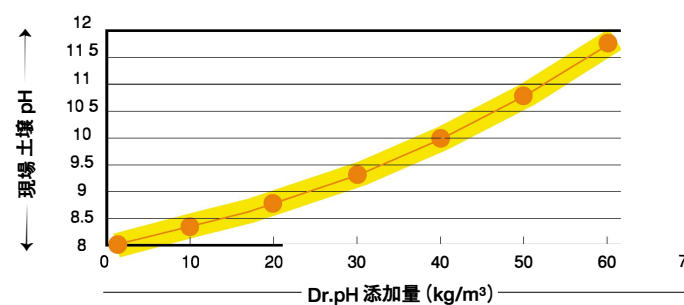
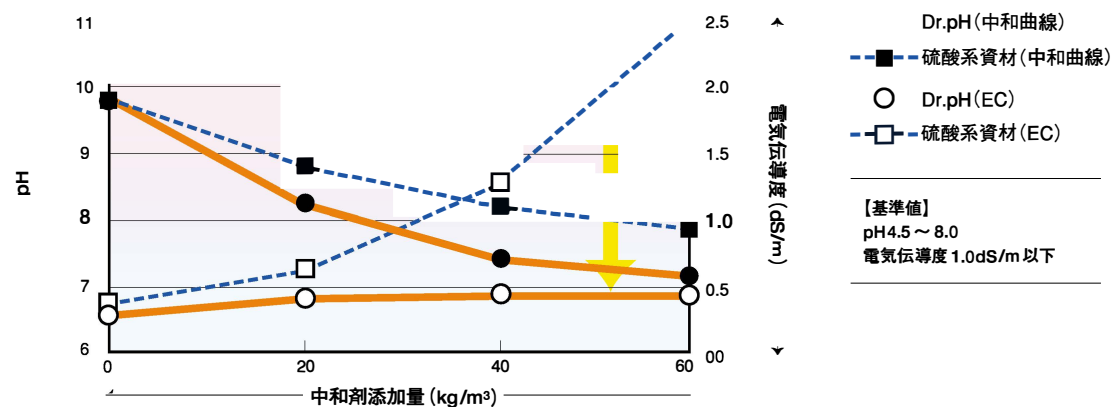
アルカリ残土汚染問題はDr.pHが解決します。

Dr.pHで中和、再利用で大幅なコスト削減が可能です。

Dr.pHはセメント系固化剤や石灰による地盤改良されたアルカリ土壌を速やかに中和し、植栽基盤材として再生します。

電気伝導度を、上昇させません。

Dr.pHは中和反応で生成される塩類が少なく、その塩類が水に溶けないため電気伝導度の上昇がほとんどなく、植生に最適な土壌に再生することができます。



中和に必要なDr.pHの添加量

＜使用量のめやす＞

土壌 pH	Dr.pH 配合量
8.0~8.5	5~10kg/㎡
8.5~9.0	10~25kg/㎡
9.0~9.5	20~35kg/㎡
9.5~10.0	25~50kg/㎡
10.0~10.5	40~60kg/㎡
10.5~11.0	60~90kg/㎡

現場の土壌をpH7.5~8.0に中和する為に必要な添加量です。正確な添加量を把握するためには中和試験を実施することをお勧めしています。試験は無料で実施しますのでお気軽にお問い合わせください。

成分と安全性

- Dr.pHは食品添加物が主成分で、とても安全な中和剤です。
成分：酸性炭素、リン酸塩、有機酸、ミネラル他多糖類
- 魚毒性試験において生存率100% (財団法人日本食品分析センター)
強アルカリ土壌をドクターペーパーで中和後、人工降雨で得た浸出水で魚毒性試験を実施しました。
96時間生存率100%で周辺環境に対し安全な中和剤です。
- Dr.pHからの重金属の溶出はありません。(土壌の汚染に関わる環境基準)

pHが永続的に安定します。

Dr.pHで中和した土壌は永続的に安定し、または徐々に中性～弱酸性に移行します。

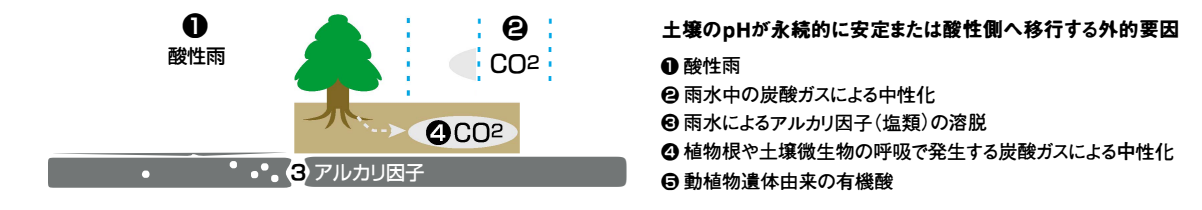
施工中

地盤改良されたpH10.7の強アルカリ性土壌の現場。現況土壌を全てDr.pHで中和し客土利用し残土処分をゼロに。発生土処分・客土置換法に比べて40%のコストダウンが図れた。



4年後

中和改良した現場の4年後の状況。PH値は改良目標値だった「pH7.9以下」で安定して推移している。樹木も旺盛に生育している。



扱いやすく、簡単な施工方法です。

- 所定量のDr.pHをバックホウ、スタビライザー、耕運機などで混合するだけです。
- 混合後、すぐに植栽工事が可能です。
- 他の土壌改良材との併用は自由です。
- Dr.pHは適度な湿り気を有しているため、風の強い現場でも飛散の心配はありません。



＜有害重金属溶出試験結果＞ 有害重金属類の溶出はありません。

項目	カドミウム	全シアン	有機リン	鉛	六価クロム	ヒ素	総水銀	アルキル水銀	セレン
測定値 mg/L	0.001>	0.1> (不検出)	0.1> (不検出)	0.005>	0.01>	0.005>	0.0005>	0.0005> (不検出)	0.005>
基準値 mg/L	0.01	検出されない	検出されない	0.01	0.05	0.01	0.0005	検出されない	0.01

＜魚毒性試験結果＞ 中和土壌からの浸出水の魚毒性はありません。

時間	24時間	48時間	72時間	96時間
試験区	100%	100%	100%	100%
対照区	100%	100%	100%	100%